

第 1 部会【市民協働部門】 会議概要録

【開催概要】

名 称：令和 5 年度 第 1 0 回 東区自治協議会 第 1 部会

日 時：令和 6 年 3 月 8 日（金）午前 1 0 時 0 0 分～1 1 時 2 0 分

場 所：東区プラザ 音楽練習室 2

出席者：佐藤（純）委員、渡辺委員、小嶋委員、月岡委員、佐藤（美）委員、
帯川委員、関塚委員、田中委員、長谷川（瑞）委員、山田委員、田宮委員
（事務局）地域課

【会議内容】

1 令和 5 年事業評価書について

事務局より内容について説明があり、内容について事務局案のとおり確定しました。

2 令和 6 年度自治協議会提案事業について

事務局より前回までの部会で出た意見を確認したのち、令和 6 年度の事業実施に向けた協議を先月の部会に引き続き実施しました。

その結果、災害に際し、個人ができる正しい行動や初動に関する講演会といったイベントを実施することで決定しました。

〔主な意見〕

- ・東区を 3 つの地域に分け、その地域ごとに津波被害や洪水被害など実情に合わせた講演会を行うのはどうか。
- ・ハザードマップの周知に繋がる事業や見方を説明する講演会が良いのではないか。
- ・災害が発生した際、どこにいても一人一人が正しく行動ができるような学びに繋がると良いと考える。
- ・講演会に合わせて、ワークショップを開催し、参加者自身の行動を考えながら学んでもらうと良いと考える。

【次回開催日】

日 時：令和 6 年 4 月 1 2 日（金）午前 1 0 時 0 0 分～

会 場：東区プラザ 音楽練習室 1

区自治協議会提案事業 事業評価書(案)

東区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	地域課題の解決に向けた調査研究 「東区民意識調査」の実施 【事業費予算 2,400千円】 ※各部会共通
事業目的・概要	(1) 区民と協働し、東区の地域課題の解決や街の活性化に取り組む。 (2) 区民自らが、「東区のまちづくりや暮らしやすさ」とは何かを考え、地域の強みや資源を再評価するとともに、地域の魅力を区内外に発信するための材料を得る。 (3) 市民協働分野の地域課題を明らかにし、令和5年度からスタートした「東区区ビジョンまちづくり計画」の理念に沿った事業の遂行方針の一助とするとともに、令和6年度東区自治協議会提案事業立案の参考にする。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	(1) 調査票の設問設定に係る協議 【実施期間】 令和5年4月～令和5年8月 全5回 【検討内容】 第1部会が所管する部門「市民協働」に関連する調査項目の設定 【設問数】 全37問中10問 (2) 調査票の発送による調査 【調査期間】 令和5年11月13日(月)発送～11月30日(木)締切 【調査内容】 東区のまちづくりや暮らしやすさに関する設問全37問(選択式) 【調査対象】 令和5年10月1日時点で東区内に住民票を持つ満15歳以上の 中から無作為に抽出された3,000人 【調査実績】 有効回答1,336人(44.5%) (3) 調査結果の分析および令和6年度実施事業の検討 【実施期間】 令和6年1月～3月 全3回 【検討内容】 意識調査の結果を分析し、区民の意識およびニーズを把握 上記を踏まえた令和6年度事業について検討
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	・ 意識調査を実施し、区民からの意見を広く聴取することによって、東区自治協議会へ期待するものについて把握する機会となったのみならず、令和5年度よりスタートした「東区区ビジョンまちづくり計画」の理念に沿った事業を遂行するにあたっての貴重な検討材料となった。 ・ 意識調査の結果を報告書にまとめ、課題や傾向が見える化したことで、令和6年度に部会として実施する具体的な取り組みを協議していく上での検討材料とすることができた。 ・ 地域課題の抽出や調査項目を設定するにあたり、グループに分かれてワークショップを複数回実施した。結果、委員一人一人が多くの意見を出すことができ、活発な議論を経て、項目を設定することができた。 ・ 第8期の1部会で調査および研究を実施した「自治会・町内会の人材不足」に関して、継続して調査項目に設定したとともに、「自治会・町内会活動」、「防犯・防災」の大きく分けて2つのテーマにフォーカスしてアンケート調査を実施した。委員がそれぞれの立場から感じている課題や地域資源について情報交換を行い、より具体的な項目を設定することができた。
備考	